

## 経済レポート

# 2017年2月の家計調査の結果

～ 実質消費支出は前年比で減少が続く～

調査部 研究員 土志田るり子

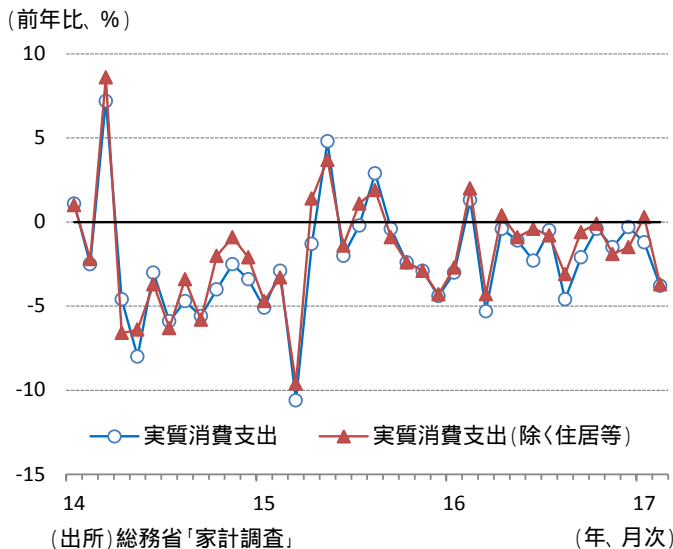
2月の二人以上の世帯の実質消費支出は前年比で減少

総務省「家計調査」によると、2月の二人以上の世帯の実質消費支出は前年比 - 3.8%と、12ヶ月連続の減少となった(図表1)。昨年がうるう年だったため今年の2月は日数が1日減り、実質消費支出もその分だけ下押しされている。一方、季節調整値では前月比 + 2.5%と増加した。

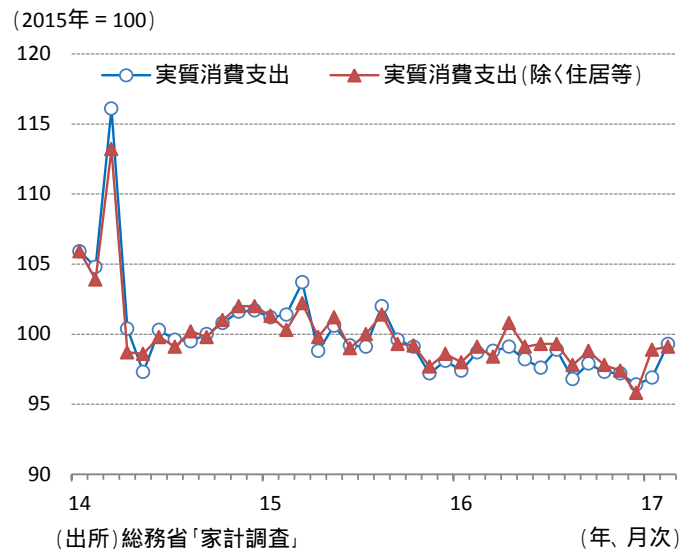
前年比のマイナスの寄与度が大きかった品目は食料(前年比 - 5.8%)で、価格の上昇した「いか」を中心に魚介類(同 - 12.9%)が減少したほか、外食(同 - 8.6%)も減少した。外食はうるう年の影響が大きいとみられる。そのほか、「自動車等購入」も前年比 - 17.3%と減少が続いた。

月々の振れの大きい「住居」や「自動車等購入」を除いた実質消費支出(除く住居等)についても、前年比では - 3.7%と減少したが、季節調整値では前月比 + 0.2%と増加した(図表2)。

図表1 . 実質消費支出の推移(前年比)



図表2 . 実質消費支出の推移(季節調整値)

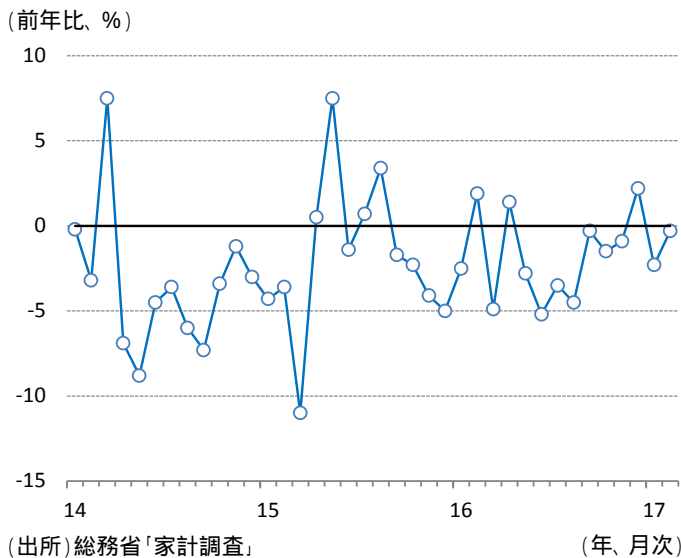


## 2月の勤労者世帯の実質消費支出は減少

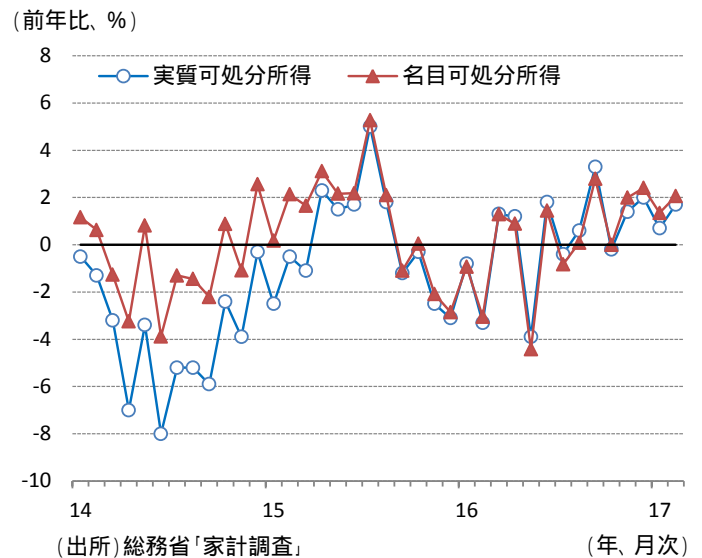
二人以上の世帯のうち勤労者世帯でも、実質消費支出は前年比 - 0.3%と2ヶ月連続で減少した(図表3)。外食を含む食料(前年比 - 4.8%)や、自動車等購入を含む交通・通信(同 - 2.3%)のマイナス寄与が大きかった。

消費の原資となる可処分所得(実質)は前年比 + 1.7%と4ヶ月連続で増加した(図表4)。同時に実質消費支出が減少したため、消費性向(原数値)は74.1%と前年から-1.4%ポイント低下した。しかし、季節調整値では75.4%(前月差 + 4.4%)と上昇した。

図表3. 勤労者世帯の実質消費支出(前年比)



図表4. 可処分所得の推移(前年比)



### ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail: chosa-report@murc.jp